

環境分科委員会のプロジェクト

日本海・黄海沿岸の海辺の漂着物調査

1.目的

日本海・黄海沿岸の海辺への漂着物等を回収・分別し、種類別に個数及び重量を調査することにより、プラスチック等の人工物による海辺の汚染実態を把握するとともに、今後の海洋環境保全対策、廃棄物対策、漁場保全対策等を推進するための基礎資料とする。また、調査への参加を通して沿岸地域の住民が「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心を育む」という共通意識を醸成する環境教育をも推進する。

2.調査内容

(1)実施期間

毎年9月～10月

(2)調査方法

「平成16年度日本海・黄海沿岸海辺の漂着物調査実施要領」

(3)実施場所

日本海・黄海に面する海岸(各自治体 1ヶ所～2ヶ所)

(4)実施方法

自治体が小・中・高校生や民間団体等の協力を得て実施

3.2003年調査結果

(1)実施自治体

① 北東アジア地域自治体連合会員

日本(10自治体、19海岸) 青森県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、
兵庫県、鳥取県、島根県

ロシア(2自治体、5海岸) 沿海地方、ハバロフスク地方

韓国(2自治体、5海岸) 江原道、忠清南道

中国(2自治体、8海岸) 遼寧省、山東省

② その他の自治体

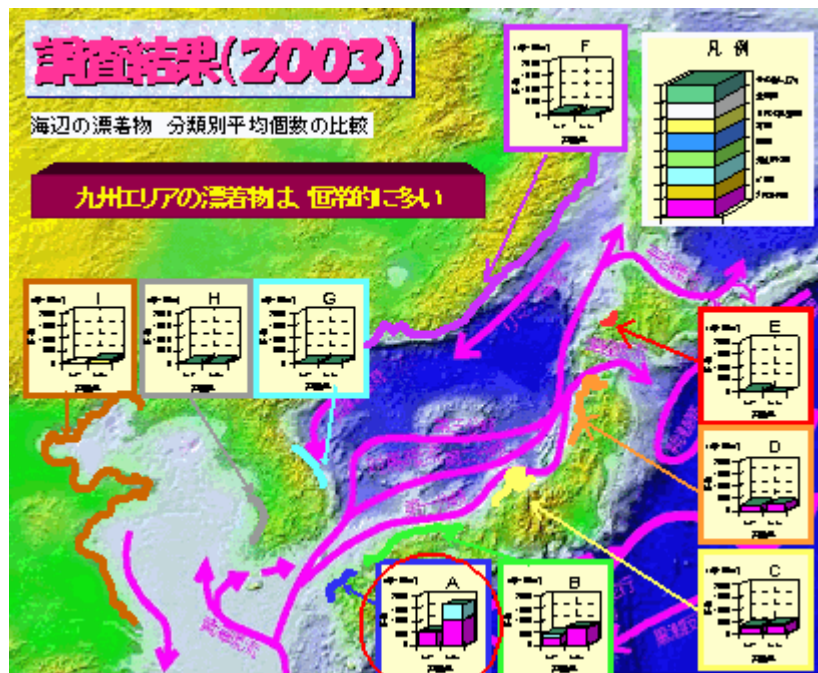
日本(6自治体、7海岸) 北海道、秋田県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県

中国(2自治体、4海岸) 河北省、江蘇省

(2)調査結果

調査は日本・ロシア・韓国・中国の4カ国、48海岸で実施され、調査参加人数は1,620人であった。また、収集された総個数は約70,000個、総重量は約400kgであり、そのうち「プラスチック類」が最も多く、個数で約74%、重量で約53%を占めていた。なお、これらの傾向は前年度と同様の調査結果であった。また、一般的な漂着物の特徴としては、日本の海岸を北上するのにしたがって漂着物の個数や量の減少する傾向がみられた。

【漂着物の100㎡当たりのエリア別個数】



(3)その他

調査の目的である日本海・黄海の環境を守ろうとする意識の醸成を図るため、わかりやすいイラストを盛り込んだ啓発パンフレット(日本語・ロシア語・韓国語・中国語)を作成した。

4 2004年調査実施状況

(1)参加予定自治体

① 北東アジア地域自治体連合会員

日本(10自治体、18海岸) 青森県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県

ロシア(3自治体、9海岸) 沿海地方、ハバロフスク地方、サハリン州

韓国(3自治体、6海岸) 江原道、忠清南道、慶尚北道

中国(2自治体、8海岸) 遼寧省 山東省

② その他の自治体

日本(6自治体、7海岸) 北海道、秋田県、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県

中国(2自治体、6海岸) 河北省、江蘇省

(2)調査実施予定海岸数 54 海岸

2003年調査実施状況



日本



ロシア



日本



中国



韓国



検討会